

(様式5)

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立児童院（児童心理治療施設）
施設所管課・担当	こども青少年局こども家庭課要保護児童グループ
条例上の設置目的	児童福祉法第43条の2に基づき児童心理治療施設を設置するもの
業務の概要	児童心理治療施設の管理運営
成果指標	①退所児童の家庭復帰後半年間の現況把握率 ②苦情解決第三者委員会による苦情解決率
目標	①100% ②100%
指定管理者名	（社福）聖家族の家
指定期間	令和3年4月1日～令和11年3月31日（8年間）
評価対象期間	令和5年度分

2 管理運営の成果・実績

成果指標	①	②
数値目標	100%	-
年度実績	100%	-
達成率	100%	-

利用状況（各年度3月1日時点）

	前年度	5年度	前年度比
利用人数	21	25	4
稼働率	65.6%	78.1%	12.5%

3 収支状況

収入		5年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	216,241,875	206,458,254	-96,230,452	入所児童数の減による
	計画	312,472,327	357,624,467		
利用料金収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
その他収入 （自主事業収入）	実績	9,335,853	2,934,722	9,335,853	
	計画	0	0		
合計	実績	225,577,728	209,392,976	-86,894,599	入所児童数の減による
	計画	312,472,327	357,624,467		

支出		5年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	168,663,356	158,556,233	168,663,356	
	計画				
管理運営費	実績	47,839,942	47,585,597	47,839,942	
	計画				
その他事業費 （自主事業支出）	実績	4,288,257	72,787,068	4,288,257	
	計画				
合計	実績	220,791,555	278,928,898	220,791,555	
	計画	0	0		

4 管理運営状況の評価

（1）成果指標の目標達成状況

評価項目	市の評価	特記事項
①	B	自立支援担当職員を配置し、適切に対応されたことにより、目標を達成している。
②	—	対象件数はなかった。

(2) 市費の縮減

市費縮減に係る取組状況	市の評価	特記事項
児童入所施設等措置費の基準に基づき業務代行量を支出しており、市費縮減については不可能	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	市の評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービス向上		
施設の管理運営	A	施設は別所属との複合施設となっているが所管部分において、日常的な点検整備を欠かさないことで、入所者の安全に配慮されており、ビル会議などにも積極的に参画いただいている。 併せて、措置費における加算職員等、処遇向上のための職員加配に積極的に取り組んでいる点は評価できる。
施設の維持管理		
職員の配置状況		
安全管理		
市民サービスの向上	A	施設内において家族療法事業を実施し、入所児童の家族も巻き込んだ心理療法の実施に取り組むなど家族機能の回復及び生活環境調整に取り組んでいる点など評価に値する。
利用者満足度調査		
サービス向上策の実施		
利用促進策の実施		
事業計画の実施状況	B	児童入所施設運営として適切かつ良好である。
事業の実施状況		
施設の有効活用	B	同種別の施設や、同圏域内施設との連携を通じて職員のスキルアップに努めるとともに、地域の企業と入所児童との交流を継続して行うなど、地域との連携を積極的に図っている。
地域との連携		
他施設との連携		
社会的責任・法令遵守	B	適切かつ良好である。
勤務労働条件の確保		
個人情報保護対策		
環境への配慮		
就職困難者の雇用		

5 外部専門家意見

・運営理念に基づき、児童の成長と自立支援を目指した適切な運営が行われていることがうかがえる。 ・家族支援で家族療法を導入しており、児童だけでなくその家族全体に対して支援を行い、児童の生活環境を包括的に改善する取り組みが行われている点は高く評価できる。 ・児童クラブの活動が多様であり、さまざまな活動を通じて児童の成長を支援している点は評価できる。 ・性教育や心理療法が実施されていることは評価できるが、その具体的内容や効果についての詳細が不足しているため、もう少し詳しい情報を提供されたい。 ・職員の確保が難しいなか、積極的な雇用配置を行い、心身のケアが必要なこどもたちを預かる施設として、丁寧にかかわっておられる様子が窺えるが、学齢児童に特化した施設であることの強みや特色の打ち出しも試みていただきたい。

6 総合評価

評価項目	評価	所見
成果指標の目標達成	B	目標達成している。
市費の縮減	B	児童入所施設措置費を運営財源としているため、市費縮減は不可能である。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	A	児童クラブの活動等のさまざまな取組を通じて児童の成長を支援するとともに、自立支援を目指した適切な運営が行われている。今後は、学齢児童に特化した施設であることの強みや特色の打ち出しも試みていただきたい。
施設の管理運営		
市民サービスの向上		
事業計画		
施設の有効活用		
社会的責任・市の施策との整合	B	適切かつ良好である。
総合評価	B	